



《“会議のムダ”を、一台で劇的に改善》

MAXHUB

— 日本正規販売輸入元 —

株式会社 MAYAビジネスソリューションズ

こんな会議のムダ、ありませんか？

MAXHUB
All in one meeting board

会議前（準備）

1. 資料準備

- ☐ 同じ資料を何度も印刷・配布
- ☐ 最新版が分からず、複数人で確認のやり取り
- ☐ そもそも会議室に資料を忘れる、持ち込みミス

2. 機材・環境準備

- ☐ プロジェクターやモニターの接続トラブル
- ☐ パソコンと表示機器の相性問題やケーブル探し
- ☐ 会議室の予約ミス、設備不備

3. 事前情報共有

- ☐ 参加者に事前情報が行き届かず、説明が冗長化
- ☐ 目的やアジェンダが共有されておらず、開始時に混乱
- ☐ 参加者間で情報の認識ズレが発生

4. 人的リソース

- ☐ 準備担当者の工数（印刷、配線、資料送付など）
- ☐ 本来の業務を止めて準備対応
- ☐ 必要以上の人数が「念のため」参加

5. 精神面・心理面

- ☐ 「機材トラブルが起きたらどうしよう」という不安
- ☐ 準備に追われ、内容の検討が疎かになる
- ☐ 準備不足による会議の質低下への焦り

会議中

1. 目的・進行の不明確さ

- ☐ 会議の冒頭で「何を決める場か」が共有されない
- ☐ 脱線や雑談が増え、結論が出ない
- ☐ ファシリテーターが不在でだらだら進行

2. 情報共有・視覚化

- ☐ ホワイボードや紙の書き写しに時間がかかる
- ☐ 画面共有の切り替え・資料探しに手間取る
- ☐ 話していることが「見える化」されず、理解に差が出る

3. 技術トラブル

- ☐ プロジェクター・PC接続不良
- ☐ テレビ会議・音声トラブルで議論が中断
- ☐ 機器操作に不慣れな人が進进行を妨げる

4. 人的リソース

- ☐ 必要のない人まで参加し、時間と人件費が浪費
- ☐ 同じ説明を何度も繰り返す
- ☐ 議論に関係ない人が「座っているだけ」状態

5. 精神面・心理面

- ☐ 結論が出ないことで「また次回」に持ち越し
- ☐ 曖昧なまま終了し、モヤモヤ・不満が残る
- ☐ 会議が無駄だと感じ、参加意欲・生産性が低下

会議後（アクション）

1. 議事録作成

- ☐ 手書きメモやホワイトボードの写真を後から整理
- ☐ メモ漏れや認識違いによる手戻り
- ☐ 作成に時間がかかり、すぐ共有できない

2. 情報共有・確認作業

- ☐ 決定事項や宿題が関係者に伝わらず、二度手間
- ☐ メールやチャットでの「確認だけ」のやりとりが増加
- ☐ 情報がバラバラに残り、後から探すのが困難

3. 行動・アクション

- ☐ 誰が何をいつまでにやるかが不明確
- ☐ 結局、次回会議で「前回の続き」を繰り返す
- ☐ 責任の所在が曖昧で進捗管理ができない

4. 振り返り・改善が行われない

- ☐ 会議の質や成果を検証せず、同じ非効率を繰り返す
- ☐ 「改善する意識」が根付かず、形式的な会議が続く

5. 精神面・心理面

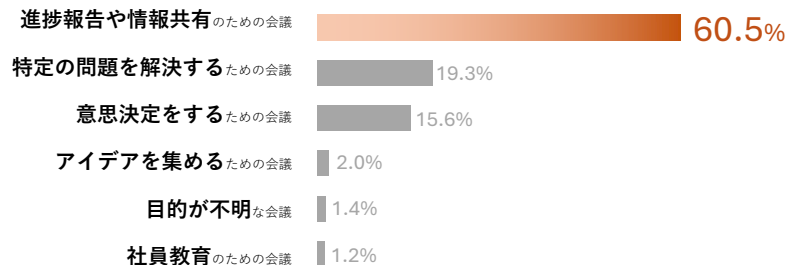
- ☐ 成果が実らず、会議が「時間のムダ」という印象が定着
- ☐ モチベーション低下、関係者の温度差が拡大

データで見る“会議の実態”

MAXHUB

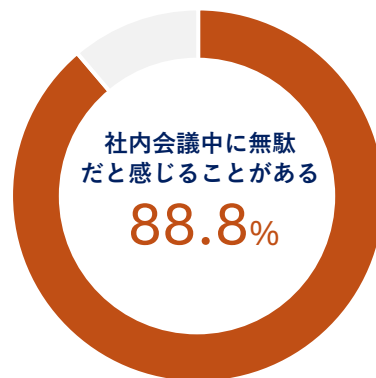
All in one meeting board

最も多く参加している社内会議の目的



※複数回答

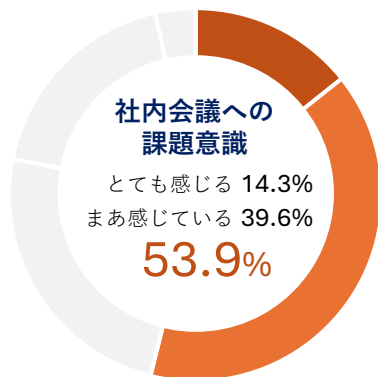
社内会議中に無駄だと感じる Best 5



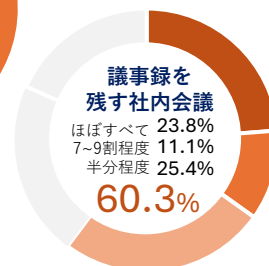
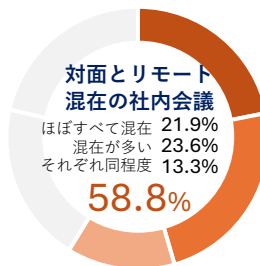
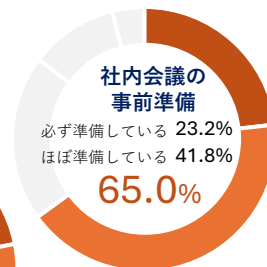
- 1 長時間の会議 (54.3%)
- 2 議題が不明瞭 (44.5%)
- 3 不要な人員が多い (33.6%)
- 4 伝達済みのことを改めて共有 (27.2%)
- 5 会議の目的と異なる雑談 (26.9%)

※複数回答

社内会議の課題ポイント



1. 会議が長い (36.7%)
2. 発言者に偏りがある (34.7%)
3. 結論が出ない (34.6%)
4. 似たような会議が多い (27.2%)
5. いつも同じ人が発言している (26.9%)
6. 出席者の日程調整が難しい (24.6%)
7. 目的がはっきりしない (20.6%)
8. 話が違う方向にずれる (18.7%)
9. 議論がまとまらない (17.3%)



会議の生産性を最大化する「オールインワン・ミーティング・ボード」

MAXHUBは、会議の生産性を飛躍的に高めるだけでなく、会議前の資料準備や機材セットアップ、会議後の議事録作成や決定事項の共有までをスマートに支援。面倒な作業から解放し、本来の「成果を生み出す時間」に集中できる環境を実現します。



MAXHUBのコンセプト

MAXHUB
All in one meeting board

会議で決まったことをすぐに現場へ、現場で得られた成果をすぐに会議へ。



会議の注意事項



目的が明確であること
成果を出すための意思決定・情報伝達の場合



効率（投資効果）重視であること
最小人数・最短時間で最大効果を得る



ゴールが明確であること
決定事項・会議後のアクションが明確になること



現場に連携されること
決定事項が迅速に共有され行動に直結すること



MAXHUBは、この双方向の循環を加速させ、“**会議を成果に変えるエンジン**”となります。

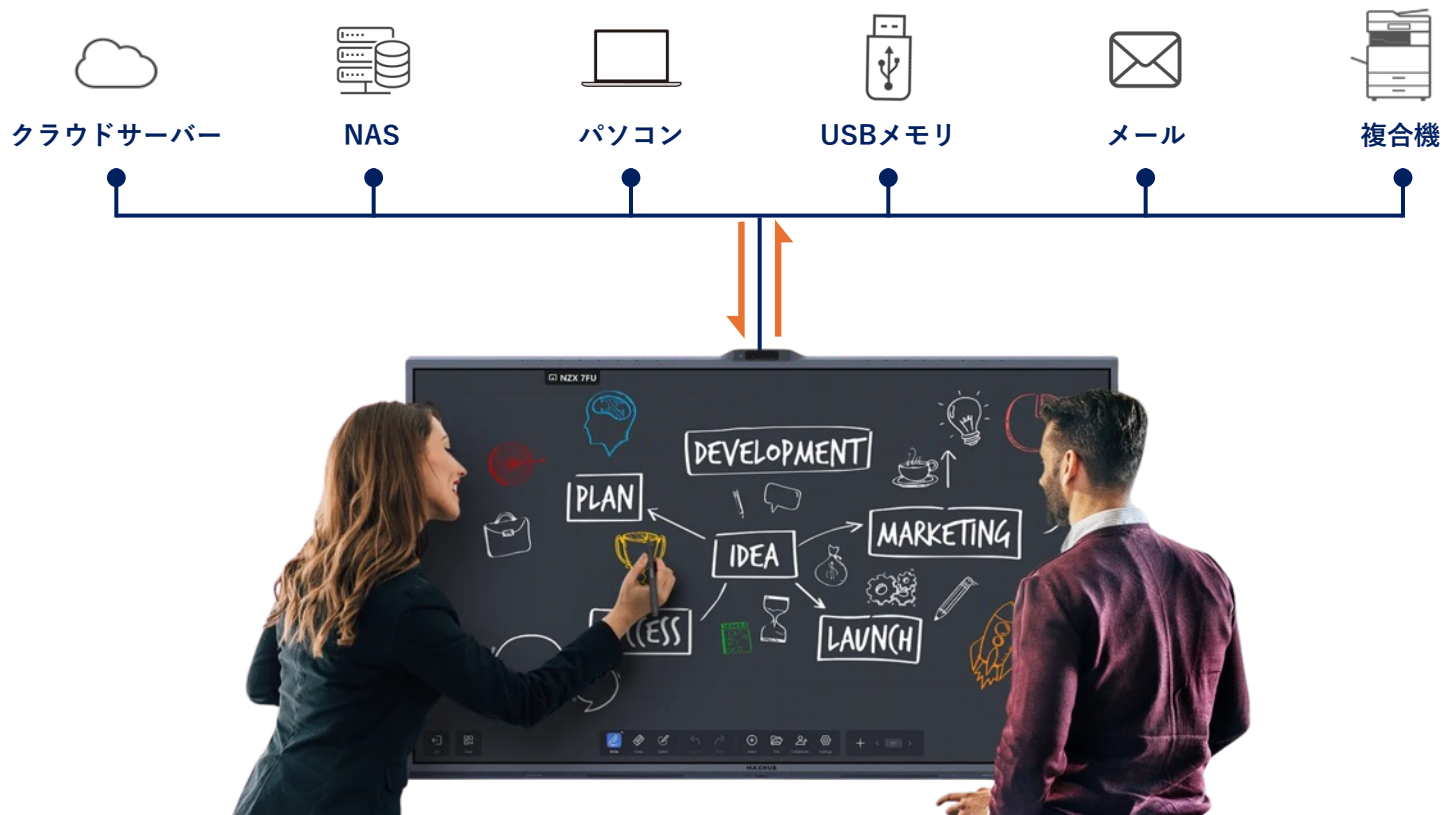
ホワイトボード×MAXHUB

MAXHUB

All in one meeting board

保存して終わりじゃない。あとから何度でも再編集できるホワイトボード。

MAXHUB本体のストレージの他、クラウド、NAS、パソコン、USBメモリ、メールなど、多彩な保存先に対応。
保存したファイルは必要なときに呼び出し、加筆・修正・再利用が可能で、業務の効率化に直結します。

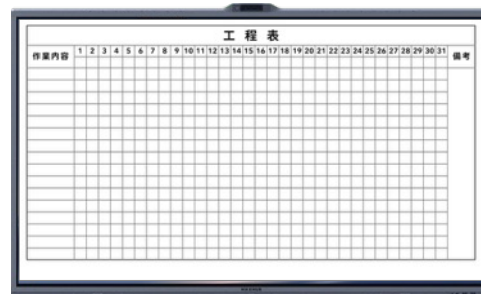


MAXHUB
All in one meeting board

MAXHUBは、電子黒板上で「書く・消す・戻す」を直感的に操作できるスマートボードです。板書の修正や追記が簡単に行え、授業内容を効率的に整理・共有できます。



MAXHUBは、背景に工程表や方眼紙、無地などを設定でき、授業や会議内容に応じた最適な板書レイアウトを実現します。情報整理や進行管理がより効率的に行えます。



メモ送信機能では、会議中にホワイトボードへ直接メモを送信可能。さらに、リモートで参加しているメンバーからも即時に送れるため、距離に関係なく全員の意見を一つの画面に集約できます。



MAXHUBは、板書内容をQRコードで簡単に保存・共有できます。工程表などの背景設定と組み合わせることで、授業や会議の記録を効率的にデジタル管理できます。



対面とリモート参加のハイブリッド会議が劇的に変わる

MAXHUBは、会議の生産性を飛躍的に高めるだけでなく、会議前の資料準備や機材セットアップ、会議後の議事録作成や決定事項の共有までをスマートに支援。面倒な作業から解放し、本来の「**成果を生み出す時間**」に集中できる環境を実現します。



Web会議で使える秀逸機能

MAXHUB
All in one meeting board

AIフォーカス

複数の参加者を同時に捉え、表情や仕草を鮮明に映し出すインテリジェント・フォーカス・テクノロジー。まるで同じ空間にいるかのような没入感を生み出します。



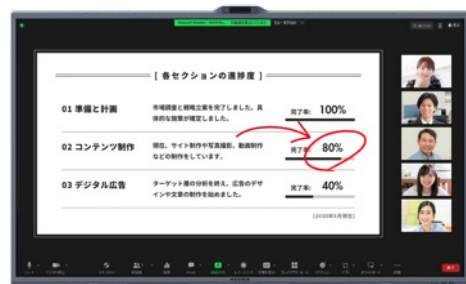
BYOM

普段使っているWeb会議アプリを自分のPCからそのまま利用でき、MAXHUBの高品質なカメラ・マイクと連携。操作の煩わしさをなく、スムーズで快適な会議を実現します。



アノテーション

リモート会議中でも、共有画面に直接書込みができるMAXHUBのアノテーション機能。資料にマーカーを引いたり補足を書込んだりと、リアルな会議さながらに意見を視覚化し、全員の理解を深めます。



メモ送信機能

メモ送信機能では、会議中にホワイトボードへ直接メモを送信可能。さらに、リモートで参加しているメンバーからも即時に送れるため、距離に関係なく全員の意見を一つの画面に集約できます。



画面投影×MAXHUB

MAXHUB
All in one meeting board

Dongleもアプリもケーブルも。あらゆるデバイスから、思いのままに投影できます。

パソコンなら
MAXHUBから
操作も可能



ワイヤレスで
最大4台まで
同時接続可能



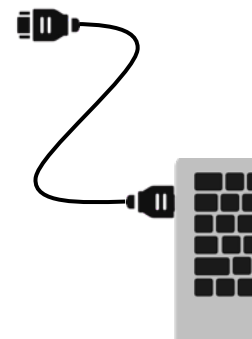
ワイヤレス Dongle
(Type-A / C)



MAXHUB Share アプリ
(Windows OS / Mac OS)



端末のミラーリング機能
iOS / Android OS / Chrome OS



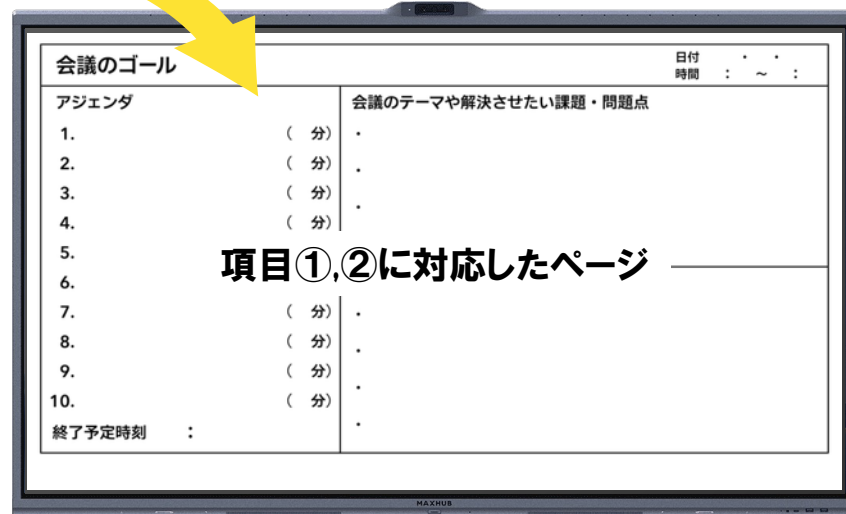
もちろんHDMIケーブル
にも対応しています

理想的な会議進行をフォーマット化 → 誰でも理想的な会議進行を再現可能に。

【理想的な会議進行フォーマット例】

【会議進行に対応したホワイトボード】

項目	内容	目安時間
① 開会・目的確認	司会または主催者が開始を宣言し、目的・ゴールを共有する	3分
② 出席確認・議題確認	出席者を確認し、当日のアジェンダを再確認する	2分
③ 前回の振り返り	前回の決定事項・宿題の進捗を確認する	5～10分
④ 各議題の討議	議題ごとに担当者報告→質疑→結論→ToDo決定	議題数×10～20分
⑤ 決定事項とToDo整理	決定事項・担当・期限をまとめて確認	5分
⑥ その他・共有事項	緊急報告や連絡事項など	5分
⑦ 次回予定・閉会	次回日程と目的を確認して終了	2分



項目③
対応ページ

項目④
対応ページ

項目⑤
対応ページ

項目⑥
対応ページ

項目⑦
対応ページ

会議で使える背景画像の例

会議のゴール		日付 時間 : ~ :
アジェンダ	会議のテーマや解決させたい課題・問題点	
1. (分)	・	
2. (分)	・	
3. (分)	・	
4. (分)	・	
5. (分)	・	
6. (分)	会議中のルールや協力のお願い	
7. (分)	・	
8. (分)	・	
9. (分)	・	
10. (分)	・	
終了予定時刻 :		

アジェンダ		目的		
事実や課題の整理 事実と個人の感想を分別	解決案 メモ送信機能で案を収集	決定事項		
		タスク	担当者	期限
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<div>分別</div> <div>採用</div> <div>不採用</div>			

ファイブフォース分析

ファイブフォース分析とは、業界の収益性を決める5つの競争要因（新規参入者の脅威・代替品の脅威・買い手の交渉力・売り手の交渉力・既存競合の敵対関係）を体系的に整理し、自社の競争環境を評価するフレームワークです。



カスタマージャーニーマップ

ペルソナ:

フェーズ	興味・関心	検討	購入	使用前・中	使用后	継続
タッチポイント						
行動						
思考・感情						
感情曲線						
改善策 解決策						

他にも多数のフォーマットやフレームワークをご用意しています。

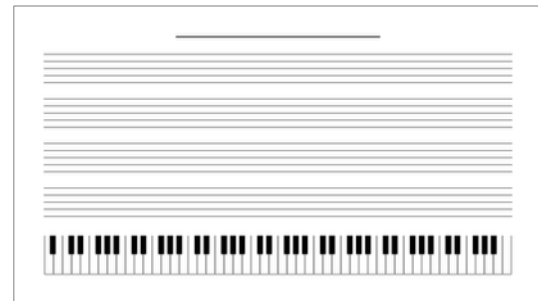
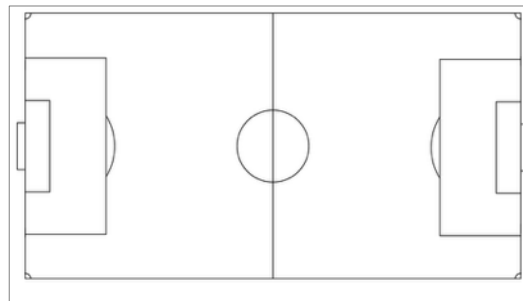
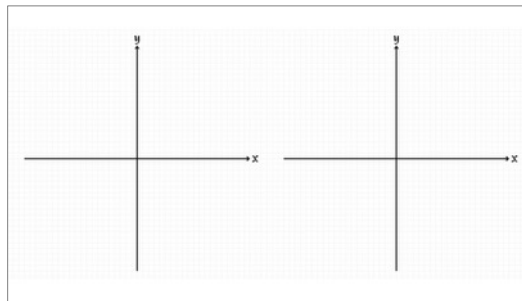
その他の背景画像

MAXHUB
All in one meeting board

工 程 表																																	
作業内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備考	
				</																													

[illegible]

{ }月		{ }月	
日・曜		16・	
1・		17・	
2・		18・	
3・		19・	
4・		20・	
5・		21・	
6・		22・	
7・		23・	
8・		24・	
9・		25・	
10・		26・	
11・		27・	
12・		28・	
13・		29・	
14・		30・	
15・		31・	
MEMO			

[illegible]

会議内容の共有 × MAXHUB

MAXHUB
All in one meeting board

決議事項やアクションプランの現場への共有もMAXHUBなら正確かつ迅速に。

メールや社内SNSで一斉送信



MAXHUBは、会議室を“整理された生産性の空間”に変えます

従来の会議室はケーブルや資料が散乱し、準備や共有に時間を消費。MAXHUB導入で配線も資料も整理され、ワンタッチで会議開始。電子ホワイトボードで即保存・共有でき、会議室は洗練された空間に生まれ変わり、生産性を高めます。

Before



After



壁のホワイトボードが、組織をつなぐハブになる。

行動予定や連絡事項、朝礼での共有など、これまで“壁の中”に閉じていた情報が、MAXHUBを中心に社内全体へ広がります。
支店やリモートメンバーともリアルタイムでつながり、どこにいても同じ情報を共有。
執務室が、情報と人をつなぐ“新しいハブ空間”へと進化します。

Before



After



行動予定表

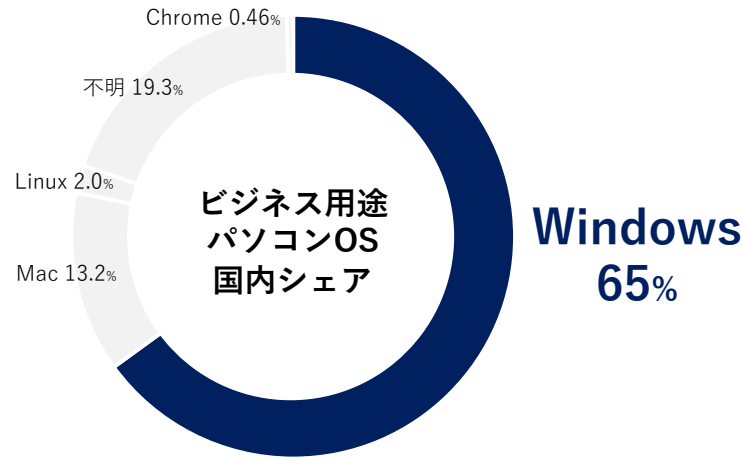
打ち合わせ

支店と常時接続

イメージ共有



似ているようで決定的に違う。その差は、ホワイトボードアプリを支えるOS



StatCounter の最新データ (2024年～2025年)

ビジネスシーンではWindowsやMacが主流です。ビジネスユースを前提に開発されたMAXHUBは、Windows OSを採用しているため、**ホワイトボードアプリとその他のビジネスアプリを同じ環境でシームレスに操作できます。**一方で、他社製品はAndroid OS上で動作するため、他アプリとの連携や業務利用に制約があります。

MAXHUB



MAXHUB以外の製品



お問い合わせ窓口

MAXHUB
All in one meeting board

MAXHUBに関するご質問・お見積りのご依頼は下記窓口までご連絡ください。

【日本総販売輸入元】

株式会社 MAYAビジネスソリューションズ

電話番号：03-6831-0329

E-Mail：maxhub_partner@mayass.com

会社概要

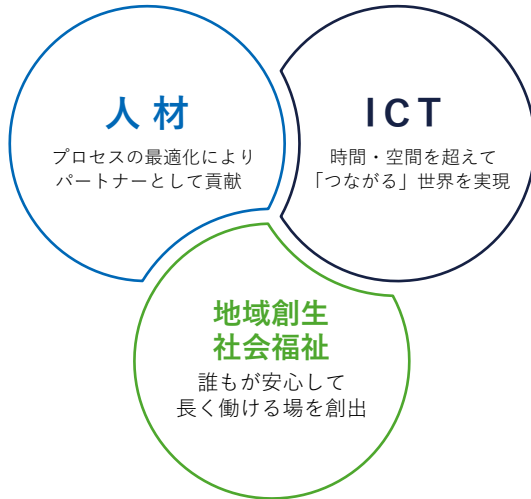
MAYAホールディングスについて

MAXHUB
All in one meeting board

会社名	株式会社 MAYAホールディングス
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル44F
設 立	2018年2月1日
代表取締役	内藤 献
従業員数	1,874名 ※2024年9月期末、契約社員含む
売上高	191億円 ※2024年9月期決算
抛 点	国内16拠点 海外3拠点
関連会社	株式会社MAYA STAFFING 株式会社MAYA MIRAI 株式会社MAYA エンジニアリング 株式会社MAYA TECHNOLOGIES 株式会社MAYA SYSTEM 株式会社MAYA ビジネスソリューションズ 株式会社MAYA ネットソリューションズ 株式会社MAYA SUSTAINERGY 株式会社MAYA ケアメイト 株式会社HORSE & MUSH 学校法人MAYA学園



MAYA GROUPは、人材ソリューションとITソリューションを中核事業として展開しています



人材ソリューション

■ 株式会社 MAYA STAFFING

BPO受託
コンタクトセンター運営・受託/営業代行/ICT 運用支援

RPO受託
HRコンサルティング/採用アウトソーシング/
就職・再就職支援

人材派遣
IT・テクニカル系/オフィス系/
コールセンター系/工場ワークス系

人材紹介

■ 株式会社 MAYA MIRAI

外国人採用コンサルティング
「登録支援機関」認定

留学生斡旋

海外起業家支援

■ 株式会社 MAYAエンジニアリング

オフィスネットワークの
コンサルティングから保守まで提供
セキュリティシステム/オフィスコミュニケーション
クラウド/SaaSサービス/ネットワーク環境

ICTソリューション

MAYA TECHNOLOGIES GROUP

■ 株式会社 MAYA SYSTEM

Cloud SIMテクノロジーの提供と運用
通信プラットフォームの構築
通信デバイスと通信商材のOEM受注
ビジネス運用の支援

次世代DXソリューションの提案
次世代型ミーティングデバイス「MAXHUB」の独占輸入
通信/デジタル関連の次世代技術の研究と開発

■ 株式会社 MAYAビジネスソリューションズ

Cloud SIMのデータ通信と対応デバイスの
販売/ビジネス支援/ユーザー支援などの提供

DX推進ソリューションの提供

コミュニケーション領域を中心に、
会議や教育のDX推進を支援

■ 株式会社 MAYAネットソリューションズ

通信ビジネスコンサルティングの提供
Cloud SIMテクノロジーを基軸とした垂直統合型提案

通信デバイスの提供

Cloud SIM対応「VOLANS」企画/開発/販売

通信運営/営業/開発受託

Cloud SIMテクノロジーCRMシステムの提供

地域創生・社会福祉

■ 株式会社 MAYA SUSTAINERGY

農業と障がい者福祉の連携
再生可能エネルギーの活用
MAYAサステナファーム 八幡平 / 磐田 / 吉備中央

■ 株式会社 MAYAケアメイト

障がい福祉サービス
就労継続支援A型事業所 ハーモニー八幡平

■ 株式会社 HORSE&MUSH

廃棄という概念を無くした
馬が主軸の循環型農業
ジオファーム八幡平

■ 学校法人マヤ学園

ITスキル教育を通じて地域社会貢献
島根デザイン専門学校

グローバル展開

■ MAYA VIETNAM CO.,LTD.

ベトナム現地法人

■ PT. MAYA NETRA INDONESIA

インドネシア現地法人

会社概要

会社名	株式会社MAYAビジネスソリューションズ	
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル44F	
設 立	2022年12月6日	
役 員	代表取締役社長 社長執行役員 代表取締役 取締役 常勤監査役 執行役員	原田 陽次 曾山 秀二 浅野 隆司 高倉 昭 加藤 真由子 小田部 貴
資本金	5,000万円	
従業員数	30名(2025年8月時点)	
事業内容	仮想SIMテクノロジー搭載端末および次世代ミーティングパネルの企画・販売・運用・支援、またはそれに付帯・関連する諸業務	
関連会社	株式会社MAYA SYSTEM 株式会社MAYA ビジネスソリューションズ 株式会社MAYA ネットソリューションズ	

